

令和4年度 学校関係者評価報告書

大阪市立塩草立葉小学校協議会

1 総括についての評価

自己評価（最終評価）は、概ね妥当である。新型コロナウイルス感染症拡大による制約の中でも、教育活動をすすめることができた。今後も、引き続き子どもたちのために尽力してほしい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標1：安全・安心な教育の推進

- 大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

達成状況は、概ね妥当である。

- 74.8%
- 前年度と増減なし

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする

達成状況は、妥当である。

- 36.1%
- 4年国語と5年国語で、前年度より向上した。
- 72.3%
- 64.5%

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 全学級で、学習者用端末を活用した学習を週1回以上実施する。
- 教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。

達成状況は、妥当である。

- 全学級で、週1回以上実施した。
- 大阪市平均より減少している

3 今後の学校の運営についての意見

今後も、子どもたちのために教育活動をさらに充実させてほしい。
子どもが多く住んでいると、町も活性化してよくなっていく。それに応えられる地域と学校でありたい。
安全な登校について、学校、PTA皆で考え、ひとつひとつ解決して前に進んでいただきたい。